

2022年3月6日(日)

日本キリスト教団 **久宝教会**

第64巻第49号(通算3277号)

教会設立 1959年6月14日

〒581-0072

大阪府八尾市久宝寺6丁目7-10

TEL 072-992-2131 FAX 072-992-2135

郵便振替: 00980-5-212130 「日本基督教団久宝教会」

【集会案内】こどもの礼拝: 毎日曜 10:15-10:30 何かお悩みがありましたらご遠慮なくご相談ください
主日礼拝: 毎日曜 10:30-11:30 小さい子どもたちも、いつでも歓迎いたします。

しゅうほう 週報

教会標語

かみさま ひと とち
神様がすべての人と共におられる
ことを証ししていく教会



ホームページ「久宝教会」
(ウェブサイト)

http://www.koinonia.or.jp/kyuhokyokai
【連絡先(牛田)】090-9161-4027

kyuho-church@koinonia.or.jp

丈夫な人には医者はいらないが、具合の悪い人には、必要なのだ。実に、私が来たのは、「正統派の人」を招くためではなく、「道をふみはずした者」を招くためである。(マルコによる福音書2:17)

レント (受難節) 第1主日礼拝

《礼拝はインターネットで中継配信いたします。ホームページにてどなたでも
ご視聴いただけますので、それぞれの場所で共に礼拝をしていただけます》

ぜん そ う もく と う ちよさくけんしやうめつ
前 奏 (黙 禱) AVE VERUM CORPUS (©著作権消滅)
まね ことば エレミヤ書 31章 33b-34a節

はじめの ことば ばん にな じゅうじか せつ
替 美 歌 21-305番「イエスの担った十字架は」(1節のみ) (©JASRAC)

しょうとう ことば きやうだんさんびかかいていいんかい
消 灯 の 詞 21-284番「荒れ野の中で」(©教団讃美歌改訂委員会)
さんび せ い し て が み しょう せつ
聖 書 ヘブライ人への手紙 2章 10-18節

いの ばん しゅ た さんびかへんしゅういいんかい
お 祈 り 21-298番「ああ主は誰がため」(©讃美歌編集委員会)

メッセ ー ジ 「この苦しみは何のため」 牛田 匡 牧師
さんび ほん きき ぎやうだんしゅつぽんきよく
賛 美 歌 21-444番「気づかせてください」(©教団出版局)
うしだ ただし ぼくし
聖 餐 牛田 匡 牧師

きやうどう いの へいわ
共 同 の お 祈 り と 、 平 和 の あ い さ つ
さんび ほん な
賛 美 歌 524番「われらみ名により」(©著作権消滅)

しゅ いの せつ
主 の 祈 り 21-91番「神の恵みゆたかに受け」(1節のみ) (©JASRAC)
さ げ も の ばん かみ めぐ う
献 げ 物 (*) 牛田 匡 牧師

しゅ く ふ 牛田 匡 牧師
祝 福 牛田 匡 牧師
う そ う ばん
後 奏 アーメン コーラス (21-40-6番) (©著作権消滅)
ほう こ ちよさくけんしやうめつ
報 告 (4頁をご参照ください)

《お隣と間隔をあけて、席にお座りになったままで礼拝にご参加ください》

* 「献げ物 (献金)」は参加費ではございません。
うけつけ けんきんばこ ようい かた ささ
受付に献金箱がございます。ご用意のある方のみ、お献げください。

^{まね}招きの詞 ^{ことば} エレミヤ書 31 章 33 節 b-34 節 a(聖書協会共同訳©日本聖書協会)

^{33b} 私は、私の律法を彼らの胸の中に授け、彼らの心に書き記す。私は彼らの神となり、彼らは私の民となる。^{34a} もはや彼らは、隣人^{りんじん}や兄弟の間に、「主を知れ」と言って教え合うことはない。小さな者から大きな者に至るまで、彼らは皆、私を知るからである——主の仰せ。

始めの詞

イエス・キリストが死から引き起こされたイースターまでの日曜日を除く 40 日の間を「受難節」と言います。この期間にはイエス様の生涯や死の意味を考え、イエス様に従うとはどういうことなのかを聖書から聴きます。クリスマスの前には毎週ろうそくの光を灯しました。レントの期間はろうそくの光を消しながら礼拝します。神と人とを大切にされたイエス様に思いをはせましょう。

^{しょうとう}消灯の詞 ^{ことば} (参照：ヨハネによる福音書 1 章 9, 10 節)

^{ししきしゃ}司式者 イエス様は、まことの光として世に来られました。

みんな しかし、世は光を理解できませんでした。

聖書 ヘブライ人への手紙 ^{しょう} 2 章 ^{せつ} 10-18 節 (聖書協会共同訳©日本聖書協会)

¹⁰ というのは、多くの子たちを栄光へと導くために、彼らの救いの^a導き手を数々の苦しみを通して完全な者とされたのは、万物の存在の目標であり源である方に、ふさわしいことであったからです。¹¹ 実際、聖とする方も、聖とされる人たちも、すべて一つの源^{みなもと}から出ているのです。それゆえ、イエスは彼らをきょうだいと呼ぶことを恥としないで、¹² 「私は、きょうだいたちに／あなたの名を告げ知らせ／集会の中であなたを賛美しよう」と言い、¹³ また、「私は神に信頼する」と言い、さらにまた、「見よ、私と／神が私に与えてくださった子たちがいます」と言われます。¹⁴ そこで、子たちは皆血と肉とを持っているので、イエスもまた同じように、これらのものをお持ちになりました。それは、ご自分の死によって、死の力を持つ者、つまり悪魔を無力にし、¹⁵ 死の恐怖のために一生涯、奴隷となっていた人々を解放されるためでした。¹⁶ 確かに、イエスは天使たちを^b助けるのではなく、アブラハムの子孫を助けられるのです。¹⁷ それで、イエスは、^c神の前で憐れみ深い、忠実な大祭司となって、民の罪を^d宥めるために、あらゆる点できょうだいたちと同じようにならなければなりませんでした。¹⁸ 事実、ご自身、試練を受けて苦しまれたからこそ、試練を受けている人たちを助けることができになるのです。

(脚注 a：別訳「創始者」、b：直訳「引き受ける」、
c：直訳「神の事柄について」、d：別訳「贖う」)

《先週のメッセージより》2022年2月27日 降誕節第10主日礼拝

「いつでも一緒に」より

水谷 憲 牧師

聖書 マルコによる福音書 2章 1-12節

脳卒中の後遺症か、体が麻痺して不自由な状態（中風）の人が、ある日4人の男によってイエスの元へ連れてこられた。会場の屋根を引っぺがして、担架でつり下ろされて。イエスが彼の病を、その原因と見られていた罪もろともに取り去られたのは、この4人の男が友人を治してもらうため屋根に穴をあけ、つり下ろしたというその大胆さや切実な思いに心動かされたからだったのか。しかし、屋根に穴をあけて大胆に割り込みをすることが、キリストへの信仰の篤さだとするなら、助けて欲しいものの割り込む勇氣もない者は、どうしたらよいのか。12年間、長血の病に苦しんでいた女性も、重い皮膚病のために隔離されていた10人の人々も、直接イエスの前にひざまずいて願うことなどできなかったではないか。でもそんな彼らをもイエスはいやされた。だから、この話はむしろ4人の大胆な行動により「ああそこまでして友人を治して欲しいのか」とイエスが感心された、ということだろう。

彼ら4人は、イエスの話を聞きたかったが中に入れなかったために、やむなく屋根をはがして中に下ろし、麻痺で動けない友人がイエスの話を聞きやすい場所を確保したというだけだったのではないか。彼らは、病気の友を独り置いたまま、自分たちだけイエスのところへ行くことができなかったのだ。イエスの見た彼らの「信仰」とは、人々の間に割り込んででも病を治してもらおうとする姿ではなく、病気や障害、様々な苦しみを抱えた者であっても「共にあらゆるものを同じように分かち合って生きてゆくのだ」という信念であり、イエスはそこにこそ心動かされたのではないか。イエスはこの病の人に「子よ、あなたの罪は赦された」と声をかけられた。あなたは既に罪から解放されている。なぜならあなたにはこの4人の友がいるからだ。彼らは何があってもあなたのことを決して見捨てず、あらゆる力を惜しまないであろう。あなたはたとえ体が動かなくとも、もはやできないことはなく、むしろ健康な体をもっている人でも必ずしも得ることのできない宝を、あなたは既に与えられているからだ。それは、あなたが今まで引け目に感じてきたであろう病が克服されていることを意味する。もしも本当に病が罪の結果であるとしても、病から解放されている以上、あなたは罪からも解放されているのだ。イエスは彼にそう伝えようと言われたのではないか。

キリストに手を差し伸べて頂くには、何とかして助けて欲しい！という切実な思いが必要なのは言うまでもない。しかし今日キリストが目を留められたのは、この4人の友人たちの「どんなことがあろうと俺たちは一緒に生きるんだ」という思いだったのだ。この5人の姿こそが、私たちのあるべき姿を指し示していると言える。私たちもこの友人たちの姿に倣いたい。また、この友人たちとそこまでの関係を作ることのできた、この中風の人のようでもありたい。

毎週の「メッセージより」は、ウェブサイト等にも順次掲載されています。

ホームページ



Facebook



LINE 公式アカウント



◎ 先週の報告 2月27日 降誕節第10主日礼拝

礼拝出席 大人 5名 子ども 3名 中継動画再生数 12回
 献金 大人 5,000円 子ども 250円 感謝

◎次週 2022年3月13日(日) レント(受難節) 第2主日礼拝

(今年の「レント」(受難節・四旬節)は3/2~4/16です。レントの期間は、イエス様の生涯や十字架の意味、イエス様に従うとはどういうことかを考える時です)

招きの詞 詩編 18編 2-4節

聖書 マルコによる福音書 3章 20-30節

メッセージ「外に立つ」水谷憲牧師

賛美歌 21-211番(©JASRAC)、21-296番(©P.D.)、21-513(©編集委員会)

礼拝はインターネットでライブ中継配信いたします。

◎お知らせ

・礼拝後に3月期の「教会を考える会(役員会)」を行う予定でしたが、新型コロナウイルス感染症の感染拡大が一向に収まっておりませんので、感染予防のために教会堂に集まって対面で行うのではなく、書面決議にすることになりました。何かございましたら、牛田牧師もしくは役員さんまでご相談ください。

・新型コロナウイルス感染症の感染爆発「第6波」が続いています。大阪府では本日まで予定だった「まん延防止等重点措置」が3月21日まで延長されました。医療現場はすでに崩壊していて、救急車(緊急搬送)を要請しても入院できない状況が続いています。ご自身の感染予防のためにも、他人に感染させないためにも、教会堂に集まる形での礼拝にこだわらず、インターネットの中継配信を利用したご在宅での礼拝など、それぞれの方が参加しやすい形で礼拝にご参加ください。教会では換気やマスク着用など感染予防に留意しながら礼拝をいたしますが、教会にいらっしゃる際には、ご自身の体調にご注意いただいて、検温、手指消毒とマスク着用、お隣の方との間隔をあけた着席をお願いいたします。「週報」や「メッセージ(全文)」はホームページからダウンロードしていただくことができます。

・次週3月11日(金)14時~15時に「3.11震災11周年を覚える集い」がオンラインで開催されます。礼拝のメッセージは大阪教区総会議長の有澤慎一牧師で、発題は山崎知行医師(核問題特別委員会委員長)による「10年間の報告~3.11原発各事故被ばく地訪問」です。主催は大阪教区の災害対策特別委員会と核問題特別委員会で、参加費は無料です。参加は右のQRコードを読み取って頂くか、ZOOMのアプリケーションにミーティングID:879 2797 7917と、パスコード707733を入力してご参加ください。



◎ 次週以降の行事予定

	メッセージ	行事
3/13	水谷牧師	
3/20	牛田牧師	
3/27	岡嶋伝道師	誕生者祝福式・おにぎり支援
4/3	牛田牧師	ユウカリスト・教会を考える会

日本基督教連合会大阪教区 災害対策特別委員会・核問題特別委員会 共催

“3.11震災11周年を覚える集い”

日 時: 2022年3月11日(金)午後2時~午後3時

参加方法: Zoom配信 (配信場所: 大阪クリスチャンセンター 小礼拝堂 大阪市中央区玉造2-20-17)

開催先 教区事務所 06-6761-9562
災害対策特別委員会 委員長 宮川経彦 0743-52-5297 (大和郡山教会)

礼拝 説教 有澤慎一さん (池田五月山教会牧師、大阪教区総会議長)

発題 『10年間の報告 ~ 3.11原発各事故被ばく地訪問』

発題 山崎知行さん (核問題特別委員会 委員長)

※今回はコロナ禍であるため、Zoomによる配信とします。
 会場への来会はお控えください。
 教区事務所までメールでお申込ください。URLをお送りします。
 uccj-osk@mbr.sphere.ne.jp

Zoom
 ミーティング ID: 879 2797 7917
 パスワード: 707733

申込なしでIDとパスワードまたはQRコードからの参加も可

大阪教区では、これまで毎年「東日本大震災3月11日」を覚えて、皆さまと共に祈りを合わせる時を持ってきました。関西三教区(京都・兵庫・大阪)は、東北教区被災者支援センターエマオ(仙台)・石巻エマオを中心にボランティア派遣を続け、大阪教区は山崎医師を被災地に派遣してきました。東日本大震災からもうすぐ11年。この節目において、あの震災の出来事が風化されないように。また、大規模な災害に対して、何が十分な備えであるのかという教訓が生かされるように、多くの方と礼拝をささげ、祈りを共にし、核問題について重要な発議を聞きたいと思います。

多くの方々のZoom参加をお待ちしています